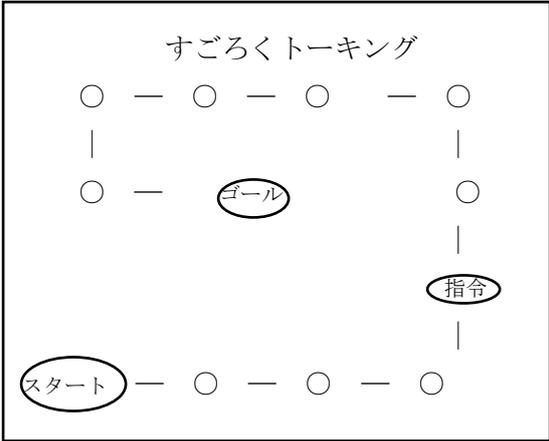
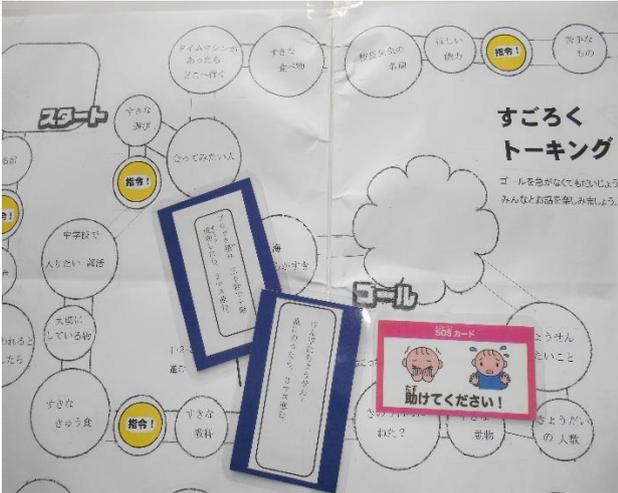


自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p>すごろくトーキング</p>	<p>【学校名】</p> <p>日立市立水木小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p>自立活動（コミュニケーションの基礎）</p>	<p>【制作者名】</p> <p>菅原 直美</p>
<p>【制作の意図】</p> <p>人との関わりやコミュニケーションが苦手な児童でも、楽しみながら、会話をしたり、語彙を増やしたりすることを通して、コミュニケーションの基礎となる力を伸ばしていくことができる。</p>	<p>【使用方法】</p> <p>2～6人で行う。すごろくを行う順番を決めて、出た目の数だけコマを進める。コマが止まったところの話題について話をする。「指令」のマスに止まったら、指令カードを引き、引いたカードの指令に従う。ゴールまで辿り着いたら終了。</p>
<p>【制作上の工夫】</p> <p>コマが止まった場所の話題について話すだけでなく、「指令カード」の指示に従うので、ゲーム性が増し、より会話を楽しむことができる。また、話題について話ができない場合は、「SOSカード」を他の児童に渡し、代わりに答えてもらうので、話すことが苦手な児童も安心して取り組むことができる。</p>	<p>【見取り図】</p> 
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <p>用具の準備や後片付けを全員で行うことで、協力し合ったり声をかけ合ったりなど、自主性を育てることができる。</p> <p>小集団で活動できるので、集団が苦手な児童も安心して取り組み、楽しみながらコミュニケーションスキルを高めることができる。</p> <p>「指令カード」を児童の実態に合わせたものに変更することができる。</p>
<p>【材料・材質・部品等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごろく台紙</li> <li>・コマ</li> <li>・サイコロ</li> <li>・SOSカード</li> <li>・指令カード</li> </ul>	